

稲城野草散策の会

野草スケッチ ミズヒキ (タデ科)



1996/09/28

稲城市坂浜

絵と文 Ta

ミズヒキは秋のわびしげな情景によくマッチする花だ。
そよと吹き抜けた風が残っていたような花・・・なんて気取ることはない。
どこにでも生える、いたって庶民的な花である。

会報第48号 2008年12月14日発行 発行責任者 尼子 房夫

最初の頃は、おお、ミズヒキが咲いている、などと声をあげて皆に教えたりした
ものだが、いつのまにか、咲いているという事実を確認するだけみたいになって
しまった。

あまりにもたくさんの花を見たため、ということでもないのだろうが、最近花
を見ての感動が薄くなっているように感じる。

自分の中からいききとした感性が失われつつあるのだろうか。

これは私にとっての黄信号に違いない。

植物に限らないが、趣味の世界は興味あるいは好奇心で入っていくものだ。

打算や義務感でやっているものは趣味とは言わない。

興味があるから、美しい花を見に行ったり、知らない植物を調べたり、記録を残
したりする。誰かの命令だったら、とてもやっつけられないだろうと思う。

興味とは不思議なものだ。

興味を持ったきっかけはわかっている。

私の場合、家を建てたときに、庭に咲く植物くらいは覚えたい、と思ったのがき
っかけである。このことはコマツナギの項にも書いた。

しかし、それが30年も続いているのだから、きっかけだけでは説明できないも
のが何かあるはずだ。

新しい花を見たときのうれしさ、新しい知識を得たよろこび。

これらは、興味がなければ無縁だったはずのもの、といえる。

興味は期待を高め、新たな疑問を深める・・・そして、やがて感動に結びついて
いく。

たとえ落ち込んでいたとしても、社会的には不遇だったとしても、感動の瞬間は
躍動感にあふれた自分自身を取り戻すことができる。

自分の可能性を信じることができる。

それがあつたればこそ、30年もやってこれたのだと思う。

趣味に没頭するのは、自分を取り戻したい自分があるから、といえるのではない
か。

「山がそこにあるから登る」だけではないと思った。

たかが趣味ではないか、そんな御託を並べなくても、という人がいるかもしれな
い。

しかし、私にとっては、それが趣味というものなのだ。
まったく、なんの因果でこんな道にはまり込んだのか、不思議な気もする。
いや、別に後悔しているわけではない。
夢中になれるものを持っているのは、すごく幸せなことだと感じている。

ミズヒキを描いたきっかけは、写真では難しいと聞いての挑戦だった。
スケッチなら、全面にフォーカスを合わせることができる（当たり前か）。
こういう細かな花でもバックに紛れることはない。
ミズヒキはスケッチ向きの花なのかもしれない。
1個1個の花をキチンと描いて、かつ全体の姿を捉えられればよいのだが・・・

図の右の穂はほとんど咲き終わっていて、左はいままさに咲いている状態・・・
そういう被写体を選んだ。
いままで、ミズヒキの花をアップでは見ていないことに気づかされた。
ミズヒキの花はこんな形だったのか。4枚の花びらの外が赤くて、中は純白になっている。
咲き終わっても外は赤、内側は白だ。
紅白の水引を連想しての名前だったことは知っていたが、十分納得した。

見慣れたミズヒキから新たな感動を味わえて、なんかとてもうれしい気がした。
(2000年10月記)

* * * * *

〔観察記録〕 11月16日 湘南平・高麗山

雨の予報で、参加者が減って、14名でした。雨の方は一日中、パラパラしたり、日が差してきたりでしたが、傘を差さないで歩きました。この人数だといつもより密度の濃い観察が出来、地元のシダに詳しい田中一雄さん（ピンさん）のご案内で、シダを中心の観察でした。大磯駅～湘南平（昼食）～地獄沢～高来神社…バス…平塚駅のコースで歩きました。

ここには珍しい自生のニシキギ科のモクレイシが見られます。モクレイシは花や実がなく葉だけだと特に特徴がありません。きれいな実が付いたカラタチバナ（百両）がありました。高来（こうらい）神社の境内には、カゴノキに似た樹皮の木があり、何だろうとよくよく見るとナギでした。海辺の神社にはよく見られる木です。

マラソンの影響は大磯駅では、まったくありませんでしたが、帰りのバスはかな

り待たされました。(FAM)

◆観察記録・シダ (今回はアイウエオ順です)

アイアスカイノデ、アスカイノデ、イヌドクサ、イヌワラビ、イノデ、イワガネゼンマイ、イワガネソウ、イワヒメワラビ、オオイタチシダ、オオイワヒトデ、オオシケシダ、オオハナワラビ、オオバノイノモトソウ、オオベニシダ、カニクサ、クサソテツ、クマワラビ、クリハラン、ゲジゲジシダ、コバノヒノキシダ、シケシダ、シュウモンジシダ、セイタカシケシダ、セフリイノモトソウ、ゼンマイ、テリハヤブソテツ、トウゴクシダ、ドウリョウイノデ、トラノオシダ、ナガバヤブソテツ、ノキシノブ、ハカタシダ、ヒカゲワラビ、ヒメカナワラビ、フモトシダ、ベニシダ、ホシダ、ホソバイヌワラビ、マツザカシダ、マメツタ、ミウライノデ、ミゾシダ、ミドリヒメワラビ、メヤブソテツ、ヤマイタチシダ、ヤマヤブソテツ、リョウメンシダ

◆オオイワヒトデ、クリハランは大磯駅近くのお宅の軒先に植えられたものです。

◆オオアリドオシがありました。アカネ科アリドオシ属の常緑低木です。案内の広沢さんの説明だとかつてはニセジュズネノキと呼ばれていましたが、現在はオオアリドオシの方を採用しているそうです。

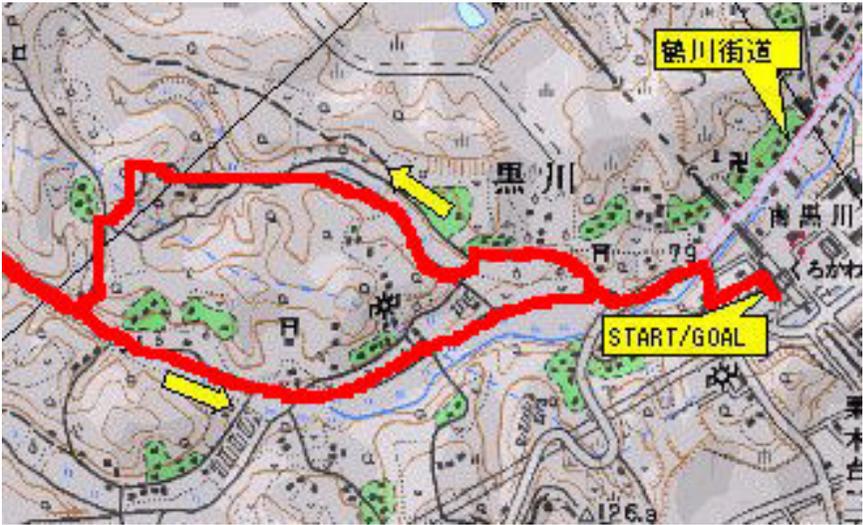
* * * * *

〔行事予定〕 2008/12/14 (日) 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎!!
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神 (焼き芋大会) (解散：15時30頃)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔行事予定〕 2008/1/17 (土) 黒川・七草摘み

項目	説明
集合	am10時、小田急多摩線・黒川駅南口階段下 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交通	小田急線・新百合ヶ丘駅より唐木田行きに乗換えて3駅目 京王相模原線・永山駅で小田急多摩線に乗換え2駅目です 京王線利用者は、京王相模原線・若葉台駅から徒歩(10分弱)が 便利
行く先 (解散場所)	黒川の谷戸で七草摘みをします。黒川駅にてpm3時頃解散予定
見所 その他	七草粥用のセリ、ナズナ、オギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハ コベ)、ホトケノザ(コオニタビラコ)などを摘みます。 摘んだ七草は翌日の七草粥用です。個人的に持ち帰ったりしないで ください
地図	
コース	黒川駅→汁守神社→(黒川の谷戸で七草摘み&昼食)→汁守神社→ 黒川駅(解散・・・15時ころ) (上の地図を参照ください) コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

〔行事予定〕 2008/1/18 (日) 恒例・七草粥

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線稲城駅 ※会旗目標
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で4駅目 多摩モノレールの場合は多摩センター駅で京王線に乗換えて 3駅目 小田急線の場合は、永山駅、または多摩センター駅で京王線に 乗換え 稲城駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市城山文化センター(向陽台)での恒例・七草粥です 現地で解散。最寄駅は稲城駅です
見所 その他	当会の新年会を兼ねて七草粥を作り、皆で頂きます 2008年度の「稲城野草散策の会」の行事予定を決めます お汁粉、つまみ、お茶・ジュースなどの飲み物は幹事が用意します 差し入れ大歓迎!! 新年会での飲酒は最近の傾向から自粛することにして居ります

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2009年度観察会の推薦場所〕

2009年度の観察希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。
月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、七草粥。稲城ふれ
あいの森、三沢川下りなど稲城周辺での観察会を9回くらい、その他の場所8回。
バスハイク観察会1回を目安に考えています。(FAM)

過去のバスハイク観察会は、下記。

- 000806 (日) 乙女峠
- 010729 (日) 三ツ峠
- 020627 (日) 三窪高原
- 030724 (木) 高峰高原
- 040722 (木) 入笠山
- 050714 (木) 高ボッチ
- 060427 (木) 函南原生林
- 070720 (金) 霧ヶ峰高原
- 080523 (金) 清里